

(39) 平成25年(2013年)3月13日 水曜日

市民タイムス

1期生84人後期課程へ

松本秀峰が初の修了式

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校は12日、同市のまつもと市民芸術館で平成22年の開校時に入学した第一期生の前期課程修了式と立志式を初めて開いた。生徒84人は、義務教育の「前期中等教育(中学校相当)」を無事修めた証となる修了証書を授与され、新年度からの「後期中等教育」(高校相当)に向け、自らの夢や目標を堂々と発表した。

修了式は厳かに行われ、3年生は一人一人、証書を受け取った。小宮山淳校長から

宮山校長は「前例のない中、見事な実績を残した。今後の学習にも大いに生かしてほしい」と激励した。3年生代表の岩淵可奈さん(15)は「多くの人の期待に応えられるよう

強い意志を持って成長したい」と述べた。立志式は一転してにぎやかに行われ、3年生一人一人がステージに駆け上がって筆字で大書きした夢や目標を掲げて大声で発表した。

た。「善き方向へ進む」と書いた小川志穂さん(15)は「将来は人に関わる仕事をしたいので、いろいろなことに関わり友達を大切にしたい」と語っていた。(小岩井貴之)



立志式で自らの夢や目標を発表する3年生